

地域研究コンソーシアム(JCAS)次世代ワークショップ
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)
フィールドネットラウンジ企画



2012年12月8日(土) 10時半-17時(開場10時)
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 306 MMセミナー室
入場自由、予約不要

2011年7月9日
南スーダン共和国独立ー

中東・北アフリカ地域とサハラ以南アフリカ地域の境界にあたる「スーダン」は、イギリスからの独立前年からはじまった「南北」内戦を経て、2011年7月、南スーダン共和国独立という歴史的転換点を迎えた。

この激動の歴史を生きてきた人々は自身の生きる場所をどのように捉え、その将来像をどのように描いているのだろうか。そして二つの「スーダン」が誕生した現在、「スーダン」という単語はいかなる意味を持つのだろうか。

本企画の第1の目的は、「スーダン」の各地域を専門とする研究者の発表によって上記の疑問に応え、相互の「スーダン」像を照らし合わせることで「スーダン」という対象に対する理解を深めることにある。

そして人々の地域の捉え方、そして地域に固有とされる論理が形成される過程について、「スーダン」を構成する様々な要素から考えてみるのが第2の目的である。

「スーダン」はその地理上の位置と歴史の変遷によって、この理論を鍛えるのにふさわしい場所であると言えるだろうー

プログラム

10時半:開会、参加者紹介、趣旨説明

10時50分

モハマド・オマル・アブディン

(東京外国語大学大学院博士後期課程)

The Dynamics of Political Mobilization Strategies in North Sudan; Examining the impact of the independence of South Sudan.

11時20分

丸山大介(京都大学大学院博士後期課程)

スーフィズムにおける包括性と排他性ータリーカ(スーフィー教団)にみる共同性と「スーダン」

13時

飛内悠子(上智大学大学院博士後期課程)

「スーダン」に生きる:ハルツームの移住者集住地区における帰還と「その後」

13時半

仲尾周一郎(京都大学大学院博士後期課程)

ジュバ民衆史に関する予備的報告

14時

橋本栄莉(一橋大学大学院博士後期課程)

「トライブ」をめぐる想像力

:2011-2012年“Jonglei Crisis”における武力衝突、外部介入、スピリチュアル・リーダー

14時50分:総合討論

コメント: **内藤直樹**(徳島大学大学院准教授)

16時50分:閉会の辞

主催:地域研究コンソーシアム、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
問い合わせ:飛内悠子 fryfish011079@yahoo.co.jp